

| | |
|-----|---|
| 名 称 | 第1回上富良野町まち・ひと・しごと創生会議 |
| 日 時 | 令和5年9月22日(金) 14時00分～15時30分 |
| 場 所 | 役場3階 第2会議室 |
| 出席者 | 創生会議委員8名（別紙名簿のとおり）、欠席委員7名 町長、事務局2名（企画商工観光課長 狩野、企画政策班主幹 石川） |

【会議概要】

1 開会（狩野課長）

2 委嘱状交付

町長より委嘱状の交付を行った。（欠席委員へは郵送）

3 町長あいさつ

総合戦略の効果検証について、みなさんから忌憚のない意見を願います。

4 委員長あいさつ

総合戦略の令和4年度実績値について貴重な意見等を頂きたい。

5 議事（進行：谷口委員長）

①かみふらの総合戦略 目標・KPI（令和4年度実績）の状況報告について

資料により項目ごとに基準値・目標値との比較検証結果について説明。（説明：石川主幹）

（谷口委員長） R4人口社会減少の数値が今までよりも大きくなっている。要因は？
移住相談窓口を通じて移住した人数がなぜ少ないのか。

（狩野課長） 特に20歳～39歳人口の社会減少数が増えており、自衛隊の改編に伴う
ものであると推測している。

移住件数は企画商工観光課内の移住相談窓口相談があり、その後移住してきた人をカウントしている。相談窓口を通さず移住している人がいるのは知っているが、数値には入れていない。

（谷口委員長） ジオパークツアー、ジオガイドの増から、交流人口を呼び込んでほしい。

（青野委員） ジオパークツアー参加者数や町の移住相談窓口を通じて移住した人数
について、カウントの方法をかえてはどうか。

（狩野課長） いまKPIを変えることはできないが、次回策定時にKPIも見直して
いきたい。

（片岡委員） ふるさと納税が伸びた要因は

（狩野課長） ビール、アスパラが伸びたため

②地方創生推進交付金事業の評価・検証について

・事業の概要、数値目標、その結果に基づく事業の見直しについて説明。また、資料の【数値目標 (KPI)】②ジオパーク事業参加者数について、R 4実績 88 となっているが、4,124 が正しい数値のため修正願う。(説明：石川主幹)

(谷口委員) ジオパークの事業を増やすことで交流人口を増加させては。事業の課題で空き家対策、商店街空き店舗対策などがあるが、町の事業としては何かやっているのか。

(狩野課長) 商店街持続化補助や新規開業補助などを行っている。

(花輪委員) 自治体が空き家を改修して、移住者に貸し出す場合、改修費用の補助制度が国にあるが活用の予定はないのか。
他市町村でも移住者向けへ様々な補助を出しているが町で実施の予定はないのか。

(狩野課長) 地方で住宅が少ないため、補助を受けて空き家を改修して移住者に貸し出す事業を行っているのは把握しているが、当町のように公営住宅もアパートも空きがある状況では難しいところである。
町民向けの住宅リフォーム補助は行っているが、リフォームに限らず移住者向けに特化した補助事業は特にない。

(谷口委員長) 子ども達が一度町を出てもまた戻ってくる。そのために郷土愛をはぐくむ。また戻ってきたいと思うまちづくりをしてほしい。